

1 広島県竹原市における文化遺産フィールド実習について

竹内祥一朗

1. 実習のねらい

地域の文化遺産の調査や保存、活用についての理解を深めるためには、実地で文化遺産に対する調査を経験したり、実際に文化遺産の保存・活用に携わる行政担当者や地域住民の「生の声」を聞くことが不可欠である。京都府立大学歴史学科で開講している「文化遺産学フィールド実習」は、次年度から各ゼミに所属していくこととなる学部2回生がフィールドワークの初歩を経験できる集中講義である。毎年夏季休業を利用して、2泊3日の日程でフィールドワークをおこなっている。受講者はそれぞれの関心にもとづいてさまざまな文化遺産に関わる課題を設定し、担当教員からの指導を得つつ、事前学習をおこなった上で調査に臨む。

2020年度は竹原市教育委員会文化生涯学習課の全面的な協力のもと、8月7～9日に実施した。体温測定や手指の消毒などの新型コロナウイルス(COVID-19)の感染防止策を講じながらの実施となった。竹原市の文化遺産としては、竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区(国選定重要伝統的建造物群保存地区)が特に有名であり、保存地区内には製塩業の隆盛を背景として成立した近世中期以降の町なみが保全されている。それだけでなく、横大道古墳群(市指定史跡)などの近世以前の竹原の歩みを示す遺跡や、民俗行事や近代化遺産などの未指定の文化遺産も豊富に存在している。

現地での実習では、受講者一同で竹原市の文化遺産に対して見学し、教育委員会文化生涯学習課のこれまでの取り組みを聞くとともに、受講者が事前学習で関心を持った個別の文化遺産についての実地調査を実施した。次章以降に掲載される報告は、文化遺産学コースの教員の指導のもと、受講者が実習を通して得られた成果からそれぞれの文化遺産の特性や現状について述べるものである。

参加者 学生2回生 青柳隆慈 井垣俊樹 永久陽菜 川西優帆 小島千幸
 宰川玲 鈴木詩織 福田麻衣 藤川聖起 増田慧子 松岡茉陽琉
 大学院生 竹内祥一朗
 教員 講師直人 上杉和央 岸泰子 東昇 菱田哲郎

2. 主要な行程

- ・8月7日(金)
 - 10:30【共通】高崎城と周辺環境の見学
 - 13:30【共通】吉名煉瓦工場での見学と聞き取り
 - 15:30【共通】町並み保存センターでの竹原町並保存会 及び 竹原市教育委員会文化生涯学習課・地域振興部産業振興課に対して町並み保存や戦争遺跡の活用、民俗行事などについてのヒアリング

・8月8日（土）

9:00【共通】竹原町並保存会及び竹原市教育委員会生涯学習課の案内による竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区での見学と聞き取り

13:00【共通】町並み保存センターでの遺物調査、古文書調査

14:30【個別】葡萄農家での見学と聞き取り

16:00【個別】胡堂の実測調査

・8月9日（日）

9:00【共通】横大道古墳群と古代山陽道周辺の見学

13:00【個別】古代山陽道の見学（三原市も含む）

13:00【個別】大久野島の見学

【謝辞】

本実習の実施に際して、竹原市の方々・機関には大変お世話になりました。末尾ながら御礼申し上げます。